



夏休みを利用した法学部短期留学制度 海外法文化研修

Go! Global!



こんなあなたにぴったり!

- 有意義な夏休みにしたい
- 異文化体験をしてみたい
- 初海外は安心・安全がいい
- 海外で暮らしてみたい
- 外国の法律や法制度に興味がある
- 長期留学の前に力試しをしたい



海外の法を学び、日本の法を知る

2016年度にスタートした南山大学法学部の海外法文化研修制度は、夏季休暇を利用し、海外で生活をしながら、その国の文化や法を学ぶ法学部独自のプログラムです。事前学習を行う海外法文化研究Ⅰ（第2Q）、事後学習を行う海外法文化研究Ⅱ（第3Q）とあわせて受講することで、日本の法と他国の法を比較して検討する比較法研究の意義や対象国の法制度・法文化を学ぶことができます。また、現地の語学研修のプログラムに参加し、英語または韓国語を学びます。約1ヵ月間の海外での生活で、みなさんはいままで知らなかったような新しい世界への扉をひらくことができるでしょう。海外法文化研修、海外法文化研究Ⅰ及びⅡ受講後は、法学部開講科目として単位（合計6単位）が認定されます。



法を学ぶ魅力

—カナダの法—

オーストラリアの法—

カナダやオーストラリアは、「英米法（common law）」と呼ばれる法体系に属します。大陸法に慣れ親しんだ私達から見ると、大陸法にはない発想で問題解決が図られていて、驚かされることもあります。その一方で、導き出された結論は日本法と変わらないこともあるのです。そうした相違がどのようにして生まれたのか。全く異なる法体系だからこそ、その比較が面白く感じるのかもしれない。また、カナダやオーストラリア独自の歴史・文化と法制度の結びつきもとても興味深いです。



—韓国の法—

歴史的な経緯もあり、日本の法と韓国の法はもともとまるで双子の兄弟のようによく似ています。また、少子高齢化など直面する社会的課題に共通点もあります。でも、社会の仕組みや社会経済状況の違い、文化や国民性の違い等を反映し、まったくそっくりというわけでもありません。日本と似ていてちょっと違うからこそ、次々にわくわくするような疑問がわいてきます。そこが大きな魅力です。



研修先紹介 オーストラリア マッコーリー大学

4週間プログラム

ユーカリの香りあふれる
広大なキャンパス。
シドニー郊外の名門大学

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のシドニー郊外にある公立の総合大学です。学生数は約40,000人以上でロースクールその他、多様な学部があります。1964年に開設された比較的新しい大学ですが、オーストラリア国内でもトップレベルの実績を誇る大学として知られています。



オーストラリア研修では、世界遺産である植民地時代の刑務所跡などの見学が予定されています。連邦制を採用するオーストラリアは、日本と国家の仕組みそのものが異なるので、新しい発見がたくさんあります。



●スケジュール●

| 12~1月 | 2~3月 | 6~7月 | 8月 | 9~11月 |
|-------|-------|---------------------------------------|--------------------|---|
| 参加者募集 | 参加者決定 | 事前授業 (海外法文化研究A) その他 4月の顔合わせ等 | 研修実施 (海外法文化研修A) | 事後授業 (海外法文化研究AII) 最終的に報告会開催、その後レポート集を制作します。 |



よくある質問

Q1. 英語に自信がありませんが、参加できますか？

A1. 研修期間中の平日は、語学研修となります。最初にプレテストを受け、皆さんのレベルにあった少人数クラスに分かれています。現地の先生方はとても丁寧に教えてくださいます。

Q2. はじめての海外生活で不安です。どのようなサポートがありますか？

A2. ご協力頂いている旅行会社提供のサポートサービスが基本的にいつでも24時間365日、相談に乗ってくれます。「体調が悪いのだけれど、Homestay先から最寄りの病院（ドラッグストア）はどこか？」といった問いかけにも丁寧に対応してくださっています。



カナダ研修、ここが推し!

カナダコース一番の推しは、現役の裁判官が裁判所内を案内してくれる裁判所見学です。これは、バック旅行などでは経験できない貴重な機会となるでしょう。また、週末には、Banff国立公園への旅行やオプションツアーも用意されており、大学キャンパス内では体験できないようなカナダの雄大な大自然を満喫できます。それに、日本の蒸し暑い夏から解放されて、涼しいカナダでひと夏過ごせることも「推し」のひとつなのかもしれません。



韓国研修、ここが推し!

韓国コースの中心は語学研修と韓国文化体験です。語学研修には中上級クラスでのレベルアップはもちろん、まったく韓国語を学んだことがない初心者向けのクラスもあります。また、韓国文化体験では、プサンやソウルへの小旅行、韓屋での宿泊、韓服を着て散歩、韓国の伝統文化工芸体験、K-Popダンス体験など多彩な内容が用意されています。研修サポーターの韓南大学生さんたちとの交流も楽しみのひとつです。



研修先紹介 カナダ カルガリー大学

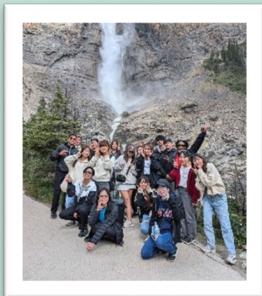
4週間プログラム

大自然に囲まれた都市
カルガリー中心部。
多様性が豊かに調和する大学

カナダ中西部・アルバータ州の中心部に位置する研究総合大学です。在籍学生総数は30,000人以上で、10以上の学部で80を超える研究所等を持つ、カナダでトップクラス実績を持っています。

広大なキャンパス内には、図書館やカフェテリアもあり、近代的な建物だけでなく、大きな公園や池もあることで、キャンパスに居ながらにして自然を感じることができます。

また、カルガリー大学に附属する英語教育機関は、40年以上にわたり留学生を対象とした英語指導をしてきました。私たちの研修でも経験豊富な教師陣が、英語学習の指導を担当します。



●スケジュール●

| 12~1月 | 2~3月 | 6~7月 | 8月 | 9~11月 |
|-------|-------|---------------------------------------|--------------------|---|
| 参加者募集 | 参加者決定 | 事前授業 (海外法文化研究A) その他 4月の顔合わせ等 | 研修実施 (海外法文化研修A) | 事後授業 (海外法文化研究A) 最終的に報告会開催、その後レポート集を制作します。 |

研修先紹介 大韓民国 韓南大学

3週間プログラム

20年以上にわたる交流の絆。
伝統と流行が交わる都市 大田の国際色豊かな大学

韓南大学は、韓国中部の中心都市、大田広域市に位置する大学です。広大なキャンパスは美しい緑に囲まれています。学部に対応するものが10組織、学生数は16,000人ほどで、南山大学より少し大きいプロテスタント系ミッションスクールです。

韓南大学と南山大学は2000年から交流を始め、現在では、全学レベルでの交換留学のほか、総合政策学部が主催する南山アジアプログラム（韓国）もここで実施されています。さらに双方の法学部生が毎年20名ほど参加する学術交流会（両大学で隔年開催）が行われており、厚い信頼関係にある大学です。



●スケジュール●

| 12~1月 | 2~3月 | 6~7月 | 8月 | 9~11月 |
|-------|-------|---------------------------------------|--------------------|---|
| 参加者募集 | 参加者決定 | 事前授業 (海外法文化研究B) その他 4月の顔合わせ等 | 研修実施 (海外法文化研修B) | 事後授業 (海外法文化研究B) 最終的に報告会開催、その後レポート集を制作します。 |

Q3. 韓国に興味がありますが、韓国語の勉強をしたことがありません…。

A3. 韓国コースでは韓国語未修者向けのクラスも用意されています。プレイスメントテスト試験でのクラス分けのあと、語学力に相応したレベルで学ぶことができます。

Q4. 費用はいくらぐらいかかりますか。その費用には何が含まれますか？

A4. 【カナダコース】費用は100万円～です（航空券の値段やその年のプログラム等で変動します）費用には、往復の航空券、英語授業料、ホームステイ代（1日2食付）、Banff国立公園1日旅行、英語レクチャー費等が含まれます。オプションツアー（毎年内容は異なります。）に参加したい人は、別途料金が必要です。

【韓国コース】参加費（20万円強）と航空券にかかる費用が必要です。（合計35万円程度/人。2024年度実績）。参加費には、韓国語講座費、韓国文化体験費、昼食代（授業日）、学生寮利用費や小旅行費の宿泊費などが含まれます。

参加者体験談

さらなる成長のきっかけに

小笠原 駿さん (2024年度カナダ研修参加)

私は、在学中いろんなことに挑戦してみようと思い、もともとカナダの税法に興味を持っていたこともあって今回のプログラムに参加しました。現地では、ホストファミリーや学校の先生方と英語で会話するのはもちろんですが、バスの待ち時間に見知らぬ方からいきなり「バス遅れてるのかな？」と話しかけられ、そこから雑談に…なんてこともありました。1か月という短い期間ですが、英語を話すことへの抵抗は格段に減ります。

また、大学の図書館には英語で書かれた法律書もありました。借りることもできたので、ぜひチャレンジしてみたいかがでしょうか？



留学を通して得られること

長田 百愛さん (2024年度カナダ研修参加)

私は幼い頃から自然が大好きで、日本とカナダの自然にはどのような違いがあるのかを体験したいと思い参加しました。実際に行ってみると、とても言葉では言い表しきれない美しい風景が広がっていました。当時の感情、風景は今でも心に深く残っています。

同時に、壮大な自然を守る法律も充実していることや、人々の自然に対する考え方も日本とはかなり違うことを学べました。視野を広げたい、興味があることについて考えを深めたいという人は、ぜひ挑戦してみてください。初めての海外でしたが、自分でも驚くほどの行動力や自信を身につけられました。一生忘れられない大切な思い出になっています。



韓国に深く触れた日々

長谷川 美羽さん (2024年度韓国研修参加)

韓国の文化が好きだったことと、新しいことに挑戦してみたいと思い、法文化研修Bに参加しました。本研修中は、基本的に大田という韓国の方がゆったりと生活しているところにいるため、ソウルや釜山などの観光都市では味わいきれない“韓国の生活の雰囲気”に触れることができます。

この雰囲気に触れることで、日本と異なっているところを発見、確認することができたことが私の中で1番の学びです。

他にも、研修前後の授業で、自分が興味を持っている韓国の記事を深掘りし、法律や諸問題について考える機会があるので、自分がこれからどのような勉強や研究をしていきたいのかが明確になりました。



憧れの海外生活

南 凛々菜さん (2024年度韓国研修参加)

海外生活に憧れがあり、大学生のうちに留学を経験してみたいと思い参加しました。本研修では韓国語の授業やダンス体験、フィールドトリップといった様々な韓国の文化を短期間で体験できます。韓国語で生活ができるか初めは不安に思っていたのですが、周囲のサポートのおかげで充実した留学生活を送ることが出来ました。

また、現地の友達もでき、今でも連絡を取り続けるほど仲良くなりました。プログラムを通して、韓国の法律や文化を学びながら多くの経験をし、沢山の思い出を作ることが出来ました。少しでも興味がある方は是非参加してみてください。



MEMO

- 2026年度夏に向けた募集スケジュール● ★長期留学を希望する場合は、下記大学Webページを参照
2025年11月末～12月初旬 説明会開催 南山大学ホーム>留学・国際交流>南山大学から海外へ
12月～翌1月 参加者募集

<問い合わせ先>

南山大学法学部事務室 (A棟1階) TEL: 052-832-8011 E-mail: n-lawyer@nanzan-u.ac.jp

